

酒々井町郷土研究会々報

第59号

平成3年1月1日発行
酒々井町郷土研究会
編集部

年頭所感

教育長 綿貫登喜夫

新年明けまして、おめでとうございます。

昨年は、酒々井町二世紀へ向けての出発の年でありました。国の内外においても、大きな変貌があり、特に国内においては、天皇の即位の礼がとり行われ、平和憲法のもと、民主国家としての歩むべき道が、あらためて再認識されました。

この様な世情の中で、私たちは、好景気に支えられ、豊かさの中で日々を過せる幸福感を噛みしめ、日本の良さを痛感いたしました。

さて我が国は、高齢化が進み一方では、週休二日制の定着による国民の余暇時代の到来など、生涯学習時代へと移行しつつあります。県や町においても平成三年より新しい時代に即応する

新五ヶ年計画が策定され、特に教育の分野においては、「豊かな文化と、教育環境に育まれ生き生きと暮らせる社会づくり」を目指した、生涯学習体制の推進と充実を図ることとしており

謹賀新年

平成三年元旦

ます。そのための施設の整備、学習機会の拡充はもとより、これらに呼応する学習意欲の醸成が大切であると思われれます。

生涯学習とは、それぞれが日々を価値あるものにするのが学習に結びつくものであり、そのためには、個々のニーズに応じた学習機会をとらえ、学ぶことに意義があるものと思えます。酒々井町郷土研究会は、発足

以来すでに十数年の歳月を歩み同じ目的と趣味をもつ方々が、肩の凝らない学習に取り組む着実にその成果をあげつつあることは、まさに生涯学習の理念にそうものであり、敬意を表します。「温故知新」、新時代に向けての郷土の発展と貴会の御活躍と祈念し、所感といたします。



新年挨拶

会長 会田秀雄

新年あけましておめでとうございます。郷土研究会の皆さんには希望あふれるさわやかな新年をお迎えのこと、存じます。

昨年は役員始め会員の方々のご支援ご協力により、全ての行事を無事終える事が出来ました。

厚く御礼申し上げます。私たちにとって、一年という時間は極めて意義深い時間単位であり、大晦日から元旦に年が変わると、そこに私たちが送ってきた過去一年間の生活のけじめというものを感じます。大晦日の夜が更けて聞こえてくる除夜の鐘は、百八つの煩惱を除去すると共に今年が自分にとってどんな年であったかが反省させてくれます。

本年は郷土研究会から十五年目に入り、一つの節目の年になりました。ふりがえりますと旧住民の会員の方ならびに縁あって酒々井の町民となられた会員の方々とのめぐり合いの不思議さを感じます。人生誰しも多くのめぐり合いがありますが、人と人の出会いを大切に、会員の皆さんが心をつなげて、「入会して良かった」と実感できるよう更に努力致したいと思えます。本年もよろしくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。まして年頭のご挨拶と致します。



「佐倉藩年寄部屋日記」抄(三)

相京 晴次

「佐倉藩年寄部屋日記」は寛延二年(一七四九)一月から三年六月までの一ヶ年半の、今から二百四十年前の記録であります。現在とこの時代の変化は随分大きなものであります。

寺院のうつりかわり

全国的に現在の寺院の住職は半世襲制とみられています。特に格式の高い本山や大寺院は別として、一般的に問題のない場合は世襲によって引き継がれているのが実情です。ところが江戸時代は宗門による任命または推薦によって、檀家と村名主との合意を得て藩主の承認を得ておりました。

寛延二・三年のこの日記にもこのことはよく表れています。また現在、無住寺、廃寺となつてゐる寺院でも、この時代は住職がいたことが記されています。上岩橋の長福寺、酒々井勝蔵院、丹福院・地藏院、飯積の泉福寺、馬橋の相持院、尾上の正福院、延命寺、墨の泉光院、中川の西

蔵院等でありませんが、そのうちの二か寺を具体的に本文を引用してみます。
(一) 延命寺、寛延三年九月の日記には次のような記載があります。
一、当村延命寺無住につき御領分龜崎村林光院住持定通と申僧、右延命寺住持に招待仕度、惣見中相談之上、本寺本佐倉村文殊寺相違候処、其意に任す可く申渡候間、入院杜候様願上候、御慈悲ヲ以テ願之通リ仰付下され候ハ、有難仕合ニ存候(讀下シ文に訂正以下同様)

尾上村 名主喜平治、与頭式人、百姓代志人
下恐書付ヲ以願上奉候
一、御領分尾上村真言宗延命寺無住につき此度拙僧を後住に仕度旨申来候ニ付、右寺へ入院仕度願上奉候、尤本寺白井台町実蔵院并惣且中相談之上御願申上候御慈悲ヲ以て願上候通仰付下され候ハ、有難仕合に存候

龜崎村真言宗林光院定通
同村名主、与頭印
この尾上村延命寺は尾上守御手洗

の京増恒雄家の隣地にあった寺院で現存は廃寺となり跡形もなく、路傍に、延命寺名のある石柱が一つだけあるのみですが、寛延二年には以上のように住持が居つた記録があります。

この延命寺跡付近から平安時代の鑄銅如来像が発見されていることを考えると或いはこの延命寺は平安時代の古寺であつたのではないかと推理もされます。

(二) 地藏院、酒々井中宿付近にあつたとされる幻の寺です。水戸光圀の「甲寅紀行」にも記載があります(日成田街道酒々井の歴史散歩四十八頁参照)。寛延三年六月十日の記載には次のように出ています。

一、森村助左衛門より、綿貫吉右衛門(夏右衛門)殿昨昼八時(ハツ時、午后二時)過旅宿酒々井地藏院江着致され候由、且又内野牧昨九日捕駒左之通り相清候由、酒々井名主相違候由申聞候、馬三拾六疋、内三疋御馬込入、拾八疋駒、拾五疋駄とあります。水戸光圀の「甲寅紀行」は延宝二年(一六七四)でこの「佐倉藩年寄部屋日記」はこれより六十五年後となりますが、まだ地藏院

は旅宿兼寺院として存在していたものと思われれます。

註、この文中の捕駒について解説しますと、①内野牧とは、佐倉三牧方に属し、現在富里町七栄、成田三ノタンを包括した地にあつた野馬牧場、②捕駒三拾六疋中内三疋御馬込入とあるのは酒々井富田家の御松場へ入れたものであり、拾八疋駒、拾五疋駄とあるのは、佐倉牧の慣習に従つて内野牧で速日払い下げた馬数であり、③駒は牡馬、駄は牝馬のこと。
以上、現在廃寺となつてゐる二か寺について、当時の記録によつて記してみました。今と昔の時の流れが感じられます。

お詫びと訂正について
会報58号(平成2年10月1日発行)の「佐倉藩年寄部屋日記」抄の文中一段二行目、二年(一八六九)は二年(一七四九)の誤りにつき、お詫び申し上げますと共に訂正の程お願い申し上げます。
編集部



大原見学会

山内 晨生

郷土研では十一月の十三日、十六日、十九日の三回にわたって大原見学会を催しました。

私は、十九日に参加しました。幸い好天に恵まれ、暑からず寒からずの絶好の旅行日和でした。参加総数三十三名、公民館前をバス一台八時三十分に出発しました。

仏閣では、大東岬の飯繩寺と、夷隅町の海雄寺で、いい勉強をさせてもらいました。飯繩寺には、葛飾北斎に影響を与えたと謂れる初代伊八の作った「牛若丸と大天狗」のすばらしい彫刻を見学しました。海雄寺は、万木城址の近くに在り、お釈迦さまの寝姿である青銅製文六の「ネハン像」を見学しました。この外、碓町の長福寺で「頼朝の筆かけの横」の太木をみて住職のお話を聞きました。

昼食は、大原町の割烹「ふじよし」でとりました。揚げたての天ぷらが何よりの御馳走でした。また、海が近いので、お刺身など魚類は美味しかった。

何と云っても、この日のイベントは、大原オレンジランドのみかん狩りでした。食べ放題という放題と云うことで、みんな張り切っておりました。最高六個食べに人がおりました。私は二個でした。とり放題といっても、あとで目方を量って料金を支払いました。

また此処に「サルビアの丘」が在り、見事に咲いておりました。此処で記念撮影を

し、お土産にしたいけの木を買って、また陽の落ちないうちに酒々井町に帰りまして。

雨ニモマケズ 風ニモマケズ 道中記

白石 榮子

十月八・九日は年一回の郷土研一泊見学会。風雨はげしい中、それでも健気に全員が集合し、早朝六時に出発。紀伊半島に夜半に上陸した台風二十一号が東海道を東進するのを迎え討つようにバスは西へ走ります。それでも厚木を過ぎたあたりで雨がやみ、青空も見えて、もしかして台風の目に入ったのかもなんて冗談も飛び出で、熱帯低気圧になったことを知りました。郷土研のパワーには風神もシャッポを脱いだようです。日本

平からの眺望は無理でしたが、心配していた久能山東照宮へのロープウェイは運行していて、旅の無事を祈りました。

弥生時代の代表遺跡の登呂では、まだどしゃぶりとなり、おちよこになりそうなかさを支えて大わらわでしたが、復原された堅穴住居の中は風雨を完全に防ぎ、現代人が思うより快適な生活が出来たのだと実感。



泉をかこんで一休み 泉のようにつづき くんでもつきないつづき ともやまは「なしが」お仲間 どのうぞあなたもお仲間

広い水田には古代の赤米が黒い穂を雨にうたせてゆれていました。

館寺温泉についた時には雨もあま、館寺の後山の巨大な観音様まで足をのばせば、折しも赤毛湖に沈む夕日がキラキラ波に反射して正に絶景。

台風が吹来してヤキモキした分、その夜の宴会の盛り上ったこと。カラオケ、踊り、最後は皆総出で炭坑節に合わせたの時期はずれの盆踊りとなり大騒ぎでした。

明ければ快晴。龍潭寺は小堀遠州作という庭園の見事なことは言うまでもなく、観光寺でありながらも落ち着きがある。寺域の一部にある井伊家の墓所は、彦根に移る以前、まだこの地の土豪にすぎなかつた時代には、わたくし小室空印塔が十基ばかりひっそりと鎮まっています。奥山方向寺はとてつもなく広い寺域の急坂の山道を走れば、そこに吾輩羅漢が泣いたり笑ったり。高床の巨大な柱が立ち並ぶ本堂には圧倒されましたね。中食に寄った食事処のすぐそばには可睡亭という大寺があった。火防せの秋葉大権現も併せており、寺域にはどりの花が咲き、「花の寺」ともいわれるのもさもありなん。予定になかったお寺拝観で得た気分になりました。

郷土研としてははじめての遠出の見学会でしたが、帰路は心配した渋滞にもかかわらず六時半には酒々井に着いたのも何よりでした。

郷土研日誌 (1/8~12/8) Table with columns for Date (月日), Location (内), and Attendance (参加人数). Rows include various events like '講義会', '一泊見学会', and '読書会'.

見学会会計報告 Table with columns for Date (日), Income (収入), and Expense (支出). Rows detail financial reports for '10月28日~9日' and '10月16日'.

史談会案内 今年度から、「酒々井町の年中行事」を讀む会を始めます。楽しく語り、勉強しあう仲間になつていただけましたら幸いです。案内、お待たししております。

郷土研行事案内

平成3年1月~3月

| | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------------|--|---|--|
| 史談会 | 休ミ | 9日(土) 公民館サクル室 午後1:30 「酒々井町の年中行事」を読む会 第1回(資料1部250円) 多数参加歓迎 | 9日(土) 公民館サクル室 午後1:30 「酒々井町の年中行事」を読む会 第2回(楽(み)のら)の勉強会です。 |
| 名勝探訪 野草の会 | 17日(木) 京成酒々井駅 9:20発 名勝探訪 本郷方面 京成酒々井駅—上野—不忍池—無縁坂— —東京大学構内—菊坂界隈—上野— —酒々井(着) (遅くならないように帰ります) | 28日(木) 野草の会 七草粥を食べる会 会費 500円 公民館・講堂 申込受付日 2月15日(金) 11:30 会食 受付時間 9:00~ 場所 公民館ビニ 定員 80名(※お休みの方は8:30に調理室に来て下さい) | 12日(火) 京成酒々井駅 8:37発 名勝探訪 御茶ノ水方面 京成酒々井駅—御茶ノ水駅—お茶の水記念碑— —明治大学刑事博物館—ニコライ堂— —湯島聖堂—神田明神—湯島天神— —麟祥院—不忍池弁財天—上野—酒々井 |
| 平成3年度 総会 | 1月27日(日) 午後1時受付 午後1時30分開会 中央公民館 講堂 平成3年度会費受付 年会費(1月~12月) 1,000円 | 議事 ・平成2年度事業報告及び決算報告 ・平成2年度会計監査報告 ・平成2年度事業及び決算の承認について ・平成3年度事業計画案及び予算案について ・役員の変更について ・その他 ◎ 多忙の折とは ありますが、多数の 出席をお願いします。 申し上げます。 | |
| 県内見学会 | 3月19日(火) A班 20日(水) B班 定員各39名 ・申込受付日時 — 2月15日(金) 9:00(定員以次第切) ・申込場所 — 公民館ロビー ・会費 — 1,500円 ・キャンセル — 実施日3日前までに会田秀雄宅()まで | 葛西・船橋方面 (出発時間 公民館 8:30) 夢の島公園—葛西臨海水族園—サッポロビール千葉工場 | ◎ 65歳以上の方は入場料が無料につき証明できるものをお持ち下さい。 上記以外の方は個人負担していただきます。 (熱帯植物園 200円・水族園 600円) |

名勝探訪

1/17 (木) 3/2 (火)

◎ 本郷界隈 1/17 (木)

京成酒々井から上野へ、不忍池を
通って無縁坂(鴨外の「雁」の舞台とら
た処)へ、これから東京大学の構内と
外側を一回りします。構内にはもと加賀
前田家の大名屋敷であったばかりの赤
門や三四郎池を始め、大学初期の記念
碑などもあり、菊坂あたりには一葉、秋声、
啄木ら文人達の記念の処もあります。
みんな探しながら歩きまわしましょう。
帰ろうと言う時に居た所から一番よい方法
で帰りましょう。

◎ 御茶ノ水界隈 3/2 (火)

京成酒々井から浅草橋へ、Jに乗り
換え御茶ノ水駅下車、西口側のお茶水記念碑に
行き、明大通りの坂を下り、明治大学刑事
博物館を見ます。駿河台四丁目まで歩き、ニ
コライ堂(国重文)に行きます。そこから北に
向い、神田川にかかる聖橋を渡り、湯島聖
堂(国史跡)で静寂な趣を感じて下
さい。銭形平次でお馴染みの神田明神にお
参ります。お蔭、主税で知られる湯島
天神に足をのぼし、春日局の隠居所であ
った麟祥院へ、別名がらた寺、局のお墓もあ
り、合掌。次に不忍池で弁財天を拝願し
縁あることを願ひ、上野より一路酒々井
へ帰ります。

県内見学会

3/19 (火) 3/20 (木)

◎ 夢の島公園

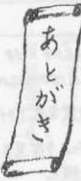
昭和五十三年十月一日開園、江東清浦工場から送
られてくる高海水で熱帯植物園が営まれ、昭和二十
九年「ヒキマ」被害を受けた漁船、第五福竜丸
が展示されている。

◎ 葛西臨海水族園

平成元年に竣工した水族園で、世界有数の
ミニオトンナドリ型の大水槽で世界初の
マグロの群泳が見られます。また、奥しみな
から海の自然への認識、水族についての科学的
知識が得られる。

◎ サッポロビール千葉工場

船橋市高瀬町二番地に建設された世界
一級を誇る最新鋭の設備を有し、敷地面積
16万㎡、一日当り約200万本の生産をしている。
飲み放題の試飲あり、お楽しみ下さい。



新年おめでとうございます。

郷土研も昭和五十二年一月、うぶ声
をあげてから十五年目を迎えました。
昔元服、一人前として世に出された年
です。会員は百人足らずから今は三
百数十人、この会を通じ、さらに相
京氏の「成田街道酒々井の歴史散歩」
で、町酒々井の事をより身うちに知るよ
うになって、県内、県外の見学会にも学習する
興味があります。ますます深まらばいい。

さて、史談会では約三年かけて「古今佐
倉真佐子」を読みおえしたので、二月からは
「酒々井町の年中行事」を読むお勉強を
始めます。皆様の参加をお待ちします。